

# 第53回 在宅ケアネット渋川 講演会レポート

【日時】10月12日(月) PM19:00~PM20:30 【会場】プレヴェール渋川

(演題) 『認知症の理解と援助について』 ~コロナ時代に考える~

川崎幸(さいわい)クリニック 院長  
(講師) (公社)認知症の人と家族の会 副代表理事 **すぎやま たかひろ**  
**杉山 孝博** 先生



会場 参加者内訳

職 種	人数(人)
医師、歯科医師、薬剤師	12
看護師・保健師	29
介護職・ケアマネ	18
PT/OT/ST	4
ソーシャルワーカー	10
栄養士	3
事務(行政含む)・その他	13
合計	89

Web 参加内訳

医療機関・事業所等	参加数
医療機関・調剤薬局	6
訪問看護事業所	1
入所・通所・居宅介護支援	6
行政・包括・その他	7
合計	20

※1事業所につき複数名参加の場合あり



杉山先生が考える「認知症をよく理解するための9大法則・1原則」を中心に、認知症の人に世界がどう見えているのか具体的な例を交えてご講演くださいました。とても分かりやすい内容で、参加者の方から「時間が短かった」「もっと聞きたかった」という声が多くなりました。

これから高齢化率の上昇に伴い、ますます認知症の方と接する機会は多くなります。そんな時にこの法則・原則を思い出しながら対応することで、看護・介護に携わる人も気持ちが楽になるかもしれないと感じました。

[参加者の感想 (一部抜粋)]

☆例えの話、先生が今まで経験されてきた話を交えての説明と話をさせていただいたのでとても聞きやすかった。今後の認知症の方の対応として取り入れて参考にしていきたい。

☆日常の介護の中で認知症の方に対する声掛けの難しさを日々痛感しています。どんな声掛けをすれば利用者の方が理解してくれるのかと思っていましたが先生のお話を聞き明日からのヒントになりました。

☆とても良かったです。もっと聞きたかったです。